

エコ農産物・レンゲ米づくりについて

環境にやさしい、安全で安心できる農産物としての、エコ農産物制度、レンゲ米について、さかの光雄議員が質問しました。

【質問】安全で安心な農業施策としてエコ農産物制度がありますが、とりくみ状況はどうですか。

【答弁】大阪エコ農産物認証制度の内容は、農薬と化学肥料の使用量を慣行栽培の5割以下に削減して栽培された農作物を、府や北河内農協と連携して「大阪エコ農産物」として認証する制度です。

現在、府内の市場等においても大阪エコ農産物認証マークの添付してある商品を見られるようになり、消費者にとって、安心・安全の目印となっています。

大阪府エコ農産物推進委員会と交野市エコ農産物推進協議会とが連携して、申請、承認、合否判定を行います。交野市では、平成17年1月より交野市エコ農産物推進協議会が発足しました。18年度は、10品目で30,190kgを認証し、学

校給食に4,468kg納めています。

【質問】枚方市では、市と農協の補助のもと、農薬の使用を少なくするレンゲ米づくりに取り組まれています。交野市として、レンゲ米をどのように位置づけているのか、お聞きします。

【答弁】レンゲは空気中の窒素を使って、土壌中の窒素に作り変える働きをします。これによって、稲に使う肥料の量を減らすことができます。また、春には主

に紫色の花を咲かせ、田んぼの景観を作り上げています。

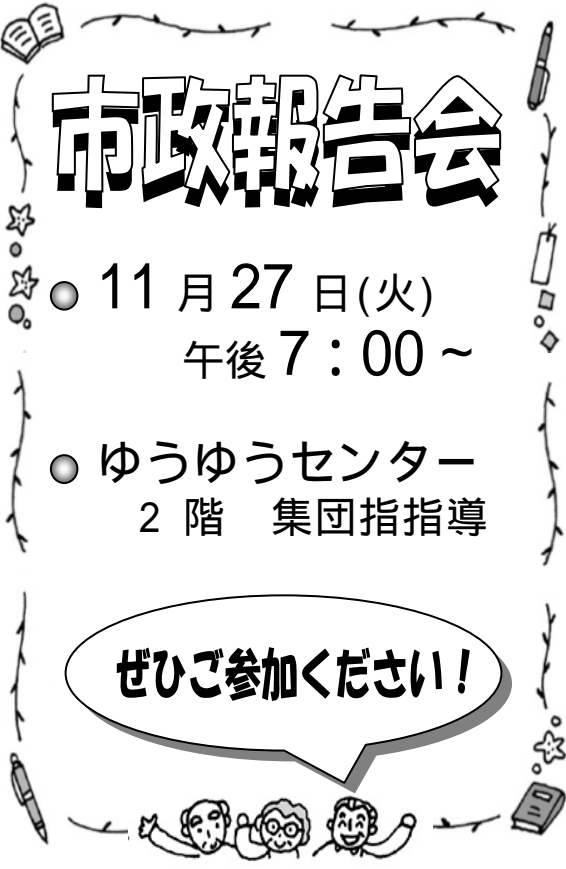
枚方市では現在、種子購入費1kg当たり840円のうち、市200円、農協200円を補助し、農協にレンゲ栽培米を出荷する時には30kg当たり市が500円、農協が250円の補助を行っています。補助対象農家は、平成19年用で183件を数えています。交野市は、北河内農協の200円補助は行っていませんが、対象農家は19年産で12件と、他市に比べるとかなり少なく、市の補助は行っていません。市として、農業関係者とも相談し、検討していきたいと考えています。

市政報告会

● 11月27日(火)
午後7:00～

● ゆうゆうセンター
2階 集団指指導

ぜひご参加ください!



保育料が一部軽減されます (児童2人以上入所の方) 今年4月からの差額が返金されます

保育料
多子軽減に関する改正

(例) 保育所に3人入所の世帯の保育料

改正前		改正後
5歳(3人目)	1/10	5歳(1人目) 10/10
3歳(2人目)	5/10	3歳(2人目) 5/10
0歳(1人目)	10/10	0歳(3人目) 1/10

対象になる方が入所している場合
保育所に2人以上の児童が幼稚園に在園している場合

交野市では、これまで兄弟姉妹で複数入所する場合、第8階層(所得税64,000円以上90,000円未満)以上の世帯では、年齢の低い順に1人目・2人目・3人目と数え、保育料は順に全額、1/2、1/10と減額して

保育料は、低年齢児ほど高いため、複数入所の世帯は、この改正により、保育料の合計が軽減されます。

改正後は、幼稚園・認定こども園に在園の兄弟もカウントされます。



いました(第2～7階層では年齢の高い順)。国の基準が、今年の4月から全階層で年齢の高い順から数えることに変更され、また、幼稚園や認定こども園に在園する兄弟がいる場合も、保育所入所の児童の保育料が減免されることになったのに合わせて、交野市でも同様の改正がされます。この改正によって、減額の対象になる方には、今年の4月にさかのぼって、過納分が還付(返金)されます。